科　目	真宗学概説Ⅰ	開講時期 履修方法	２年前期 必修、専門科目
担当者	中島　航	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』本願文（第十二願から第十六願）から学ぶ。読解・講義・確認・攻究・発表を行う内容とする。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認することができる。		
学習成果の評価基準	講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し評価する。 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス　授業の進め方について	予習：「授業要覧」を読む（2時間）復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
2.	第一願から第十一願を振り返って①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
3.	第一願から第十一願を振り返って③　確認	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
4.	第一願から第十一願を振り返って③　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
5.	第十二願　光明無量の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
6.	第十二願　光明無量の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
7.	第十三願　寿命無量の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
8.	第十三願　寿命無量の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
9.	第十四願　声聞無数の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
10.	第十四願　声聞無数の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
11.	第十五願　眷属長寿の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
12.	第十五願　眷属長寿の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
13.	第十六願　無諸不善の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
14.	第十六願　無諸不善の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
15.	まとめ	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）

教科書	『本願文』（大阪教区伝研の会）、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』
参考書	『新漢語林』、『岩波仏教辞典』
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　授業内発表（20%）　定期試験（30%）
特記すべき事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。
質問・相談等の受付	

科　目	真宗学概説Ⅱ	開講時期 履修方法	２年後期 必修、専門科目
担当者	中島　航	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』本願文（第十七願から第二十二願）から学ぶ。読解・講義・確認・攻究・発表を行う内容とする。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認することができる。		
学習成果の評価基準	講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し評価する。 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	第十七願　諸仏称名の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
2.	第十七願　諸仏称名の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
3.	第十八願　至心信楽の願①　講義①	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
4.	第十八願　至心信楽の願②　講義②	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
5.	第十八願　至心信楽の願③　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
6.	第十九願　至心発願の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
7.	第十九願　至心発願の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
8.	第二十願　至心回向の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
9.	第二十願　至心回向の願②　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
10.	第二十一願　具三十二相の願①　講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
11.	第二十一願　具三十二相の願②　攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
12.	第二十二願　還相回向の願①　講義①	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
13.	第二十二願　還相回向の願②　講義②	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
14.	第二十二願　還相回向の願③　学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）
15.	まとめ	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）

教科書	『本願文』（大阪教区伝研の会）、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』
参考書	『新漢語林』、『岩波仏教辞典』
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　授業内発表（20%）　定期試験（30%）
特記すべき事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。
質問・相談等の受付	

科　目	教行信証概説Ⅰ	開講時期 履修方法	２年前期 必修、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。前期は、「総序」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『教行信証』「総序」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		

	授 業 計 画（授 業 内 容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
2.	『教行信証』の概要①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
3.	『教行信証』の概要②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
4.	「総序」の構成	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
5.	「竊以」と「謹案」	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
6.	難思の弘誓と無碍の光明①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
7.	難思の弘誓と無碍の光明②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
8.	『観無量寿経』序分①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
9.	『観無量寿経』序分②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
10.	逆謗闡提を恵まんと欲す	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
11.	円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
12.	円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
13.	円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽③	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
14.	到達目標確認試験	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
15.	前期のまとめ	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）

教科書	『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　到達目標確認試験（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	教行信証概説Ⅱ	開講時期 履修方法	２年後期 必修、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。後期は、「別序」と「後序」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『教行信証』「別序」「後序」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		

	授 業 計 画（授 業 内 容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	「別序」の構成	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
2.	「如来選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」①	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
3.	「如来選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」②	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
4.	沈迷の二機	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
5.	「愚禿釈親鸞」の名のり	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
6.	しばらく疑問を至してついに明証を出だす①	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
7.	しばらく疑問を至してついに明証を出だす②	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
8.	毀謗を生ずることなかれ	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
9.	「後序」の構成	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
10.	承元の法難①	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
11.	承元の法難②	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
12.	雑行を棄てて本願に帰す①	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
13.	雑行を棄てて本願に帰す②	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
14.	到達目標確認試験	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）
15.	後期のまとめ	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）

教科書	『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　到達目標確認試験（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	真宗学Ⅲ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	安武智丸	授業形態 単位数	講義 2単位

授業概要	インド･中国・日本三国の七祖は、それぞれの時代・社会が提起する人間の課題をもって釈尊の経説の真意を尋ね、その課題に応える道が本願念仏の教えであることを身をもって頷かれた。しかも七祖はそれぞれ「前を訪ね、後を導く」ことで呼応し、真宗の伝統を培われた。その七祖のうち『正信偈』によって龍樹・天親・曇鸞三師が明らかにした仏道を学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。
到達目標	大乗仏教の課題と展開および基礎概念を把握した上で、宗祖親鸞聖人の仏教史観を理解する。
学習成果の評価基準	到達目標の達成度を測るため、定期試験を実施し、６割以上の正答を求める。

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス　大乗仏教の興隆と課題	予習：『大乗の仏道』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
2.	本願名号のあゆみ　ーよきひとのおおせー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
3.	仏者の伝統　ー七祖を貫くものー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
4.	龍樹菩薩①龍樹の生きた時代とその学び	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
5.	龍樹菩薩②釈尊を受け継ぐもの　ー有無の見を破るー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
6.	龍樹菩薩③易行道を開く　ー菩薩道の課題ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
7.	龍樹菩薩④必定に入る　ー現生不退　即得往生ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
8.	天親菩薩①天親の生きた時代とその学び	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
9.	天親菩薩②浄土を明かす　ー願生浄土ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
10.	天親菩薩③空過を超える　ー本願力に遇うー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
11.	天親菩薩④成仏の門　ー五念門ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
12.	曇鸞大師①曇鸞の生きた時代とその学び	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
13.	曇鸞大師②仙経を焼く　ー五濁の世　無仏の時ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
14.	曇鸞大師③回向の仏道　ー他力回向ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
15.	曇鸞大師④如実なる行　ー凡夫の仏道ー	予習：『浄土の真宗』を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）

教科書	『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『大乗の仏道』、『浄土の真宗』、『正信偈』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（30%）　授業内課題（10%）　定期試験（60%）
特記すべき事項	
質問･相談等の受付	

科　目	真宗学Ⅳ	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	安武智丸	授業形態 単位数	講義 2単位

授業概要	親鸞聖人は七祖を、その役割の上から論家と釈家に分けている。論家とは龍樹・天親・曇鸞の上三祖、釈家とは道綽・善導・源信・源空の下四祖をいう。特に下四祖は、「末法五濁」という時代社会と、そこに生きる「凡夫」という人間存在の課題を釈尊の教説にたずね、その課題に応える道が本願念仏の教えであることを身をもって頷いていかれた。その一端を『正信偈』を通して学んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。
到達目標	『正信偈』道綽章・善導章・源信章・源空章の内容を理解できる。平易な漢文を訓読できる。道綽・善導・源信・源空の伝記と思想の概要を理解できる。
学習成果の評価基準	定期試験において、6割以上の解答ができることを以て、到達目標を達成していると評価する。

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	道綽禅師　　聖道門と浄土門 「道綽決聖道難証　唯明浄土可通入」	予習：『正信偈』道綽章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
2.	道綽禅師　　他力の念仏 「万善自力貶勤修　円満徳号勧専称」	予習：『正信偈』道綽章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
3.	道綽禅師　　三不三信の教え 「三不三信誨慇懃　像末法滅同悲引」	予習：『正信偈』道綽章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
4.	道綽禅師　　誓願に遇うということ 「一生造悪値弘誓　至安養界証妙果」	予習：『正信偈』道綽章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
5.	善導大師　　独り仏の正意を明かす 「善導独明仏正意」	予習：『正信偈』善導章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
6.	善導大師　　悲しい凡夫を哀れむ　　光明と名号 「矜哀定散与逆悪　光明名号顕因縁」	予習：『正信偈』善導章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
7.	善導大師　　金剛の信心 「開入本願大智海　行者正受金剛心」	予習：『正信偈』善導章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
8.	善導大師　　慶喜の一念 「慶喜一念相応後　与韋提等獲三忍　即証法性之常楽」]	予習：『正信偈』善導章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
9.	源信僧都　　偏に安養に帰す 「源信広開一代教　偏帰安養勧一切」	予習：『正信偈』源信章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
10.	源信僧都　　報土と化土 「専雑執心判浅深　報化二土正弁立」	予習：『正信偈』源信章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
11.	源信僧都　　極重の悪人 「極重悪人唯称仏　我亦在彼摂取中　煩悩障眼雖不見　大悲無倦常照我」	予習：『正信偈』源信章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時
12.	源空上人　　善悪の凡夫人 「本師源空明仏教　憐愍善悪凡夫人」	予習：『正信偈』源空章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
13.	源空上人　　真宗　　選択本願 「真宗教証興片州　選択本願弘悪世」	予習：『正信偈』源空章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
14.	源空上人　　疑いの心 「還来生死輪転家　決以疑情為所止」	予習：『正信偈』源空章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）
15.	源空上人　信ずる心　「速入寂静無為楽　必以信心為能入」 まとめ　「弘経大士宗師等　拯済無辺極濁悪　道俗時衆共同心　唯可信斯高僧説」	予習：『正信偈』源空章を読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）

教科書	『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』
参考書	『岩波仏教辞典』、『新漢語林』
学習成果の評価方法	受講態度（30%）　定期試験（70%）
特記すべき事項	配付資料が散逸しないよう、フラットファイルを用意すること。
質問・相談等の受付	授業後、個別に、相談があれば受け付ける。

科　目	真宗聖教講読Ⅲ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	演習 1単位

授業概要	『歎異抄』を通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。 各条担当を決めて発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。
到達目標	発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。
学習成果の評価基準	授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。

	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	予習：シラバスを読む（30分） 復習：授業概要の内容を振り返る（30分）
2.	『歎異抄』前序の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
3.	『歎異抄』前序の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
4.	『歎異抄』第1条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
5.	『歎異抄』第1条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
6.	『歎異抄』第2条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
7.	『歎異抄』第2条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
8.	『歎異抄』第3条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
9.	『歎異抄』第3条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
10.	『歎異抄』第4条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
11.	『歎異抄』第4条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
12.	『歎異抄』第5条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
13.	『歎異抄』第5条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
14.	到達目標確認試験	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
15.	前期のまとめ	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）

教科書	『真宗聖典』、『歎異抄』（東本願寺出版）、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』
参考書	三明智彰『歎異抄講義（上）』（法蔵館）
学習成果の評価方法	受講態度（50%）到達目標確認試験（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	真宗聖教講読Ⅳ	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	演習 1単位

授業概要	『歎異抄』を通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。 各条担当を決めて発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。
到達目標	発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。
学習成果の評価基準	授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	「是旃陀羅」の学び	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
2.	『歎異抄』第6条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
3.	『歎異抄』第6条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
4.	『歎異抄』第7条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
5.	『歎異抄』第7条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
6.	『歎異抄』第8条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
7.	『歎異抄』第8条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
8.	『歎異抄』第9条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
9.	『歎異抄』第9条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
10.	『歎異抄』第10条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
11.	『歎異抄』第10条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
12.	『歎異抄』第11条の発表・質疑応答①	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
13.	『歎異抄』第11条の発表・質疑応答②	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
14.	到達目標確認試験	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
15.	後期のまとめ	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）

教科書	『真宗聖典』、『歎異抄』（東本願寺出版）、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』
参考書	三明智彰『歎異抄講義（上）』（法蔵館）
学習成果の評価方法	受講態度（50%）到達目標確認試験（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	教行信証講義Ⅰ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。前期は「証巻」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『教行信証』「証巻」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	予習：『教行信証』を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
2.	『教行信証』とは	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
3.	「証巻」の標挙	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
4.	共同学習	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
5.	「証巻」冒頭の御自釈①	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
6.	「証巻」冒頭の御自釈②	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
7.	必至滅度の願文	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
8.	共同学習	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	『真宗聖典』、『親鸞聖人真蹟集成』（授業担当者が準備する）
参考書	山辺習学・赤沼智善『教行信証講義』（法蔵館）
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　到達目標確認試験（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	教行信証講義Ⅱ	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。後期も「証巻」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『教行信証』「証巻」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	必至滅度の願成就文①	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
2.	必至滅度の願成就文②	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
3.	『浄土論註』の文①	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
4.	共同学習	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
5.	『浄土論註』の文②	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
6.	『浄土論註』の文③	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
7.	『浄土論註』の文④	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
8.	共同学習	予習：該当箇所を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	『真宗聖典』、『親鸞聖人真蹟集成』（授業担当者が準備する）
参考書	山辺習学・赤沼智善『教行信証講義』（法蔵館）
学習成果の評価方法	受講態度（50%）到達目標確認試験（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	仏典講読Ⅴ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	親鸞聖人は、『仏説無量寿経』、『仏説観無量寿経』、『仏説阿弥陀経』を浄土三部経として大切にされた。本科目では、その中の『仏説阿弥陀経』を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	・『阿弥陀経』とは何かを理解する。 ・『阿弥陀経』（漢文）を声に出して読むことができる。 ・漢和辞典や仏教辞典で経典のことばを調べ、意味を取ることができる。 ・発表用のレジュメを作成し、発表し、自らの課題を発見することができる。 ・発表に基づいてまわりと議論し、自らの課題を深めていくことができる。		
学習成果の評価基準	『阿弥陀経』とは何かの理解の達成度を測るために、毎回の振り返りおよび到達度確認の小テストを実施して評価する。 授業内における積極的な発表・議論を評価する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス・授業概要の確認	予習：授業要覧を読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
2.	『阿弥陀経』とは何か①	予習：『真宗聖教全書一』を読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
3.	『阿弥陀経』とは何か② 「『阿弥陀経』とは何か」についての小テスト	予習：『真宗聖教全書一』を読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
4.	序分	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
5.	正宗分（1）讃極楽依正①	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
6.	正宗分（1）讃極楽依正②	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
7.	正宗分（1）讃極楽依正③	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
8.	序分および正宗分の讃極楽依正についての小テスト	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
9.	正宗分（2）勧念仏往生①	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
10.	正宗分（2）勧念仏往生②	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
11.	正宗分（2）勧念仏往生③	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
12.	流通分 正宗分の勧念仏往生についての小テスト	予習：ノートを作成する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
13.	これまでの学習内容の振り返り（『阿弥陀経』についての発表・議論）	予習：ノートを振り返り整理する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
14.	これまでの学習内容の振り返り（『阿弥陀経』についての発表・議論）	予習：ノートを振り返り整理する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）
15.	これまでの学習内容の振り返り（『阿弥陀経』についての発表・議論）	予習：ノートを振り返り整理する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）

教科書	『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『岩波仏教辞典』、『新漢語林』、『古語林』
参考書	
学習成果の評価方法	毎回の振り返り（40%）　小テスト（30%）　授業内発表（30%）
特記すべき事　項	授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマートフォンを用意してください。
質問・相談等の受付	授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。

科　目	宗教法規	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	小田朋隆	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	宗教法人法、単位法人規則および真宗大谷派宗憲等の基本を学び、現代における仏教、教団および寺院の存在意義を考察する。 本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。		
到達目標	国法（憲法や宗教法人法）と宗法（宗憲や諸条例）と仏法（仏教）の相互関係を課題的に受けとめ、かつそれらと自己自身との関係について認識を深める。		
学習成果の評価基準	法の成り立ちと作用に関する認識度を評価基準とする。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	当科目の全容の概説、アンケート	予習：授業概要および授業計画を把握する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
2.	基本法規の概説１	予習：授業計画の全体像をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
3.	基本法規の概説２	予習：各法規の役割をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
4.	法制の背景としての教団史１	予習：歴史を学ぶ意味をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
5.	法制の背景としての教団史２	予習：法制の変化をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
6.	法制の背景としての教団史３	予習：教団の構造をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
7.	同朋会運動と教団問題１	予習：信仰運動の動機をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
8.	同朋会運動と教団問題２	予習：普遍的問題の所在を確かめる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
9.	真宗大谷派宗憲の意義	予習：宗憲の具体性を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
10.	宗教法人法の意義	予習：宗教法人法の具体性を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
11.	寺院規則、真宗大谷派規則の意義	予習：法人規則の具体性を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
12.	教団論１	予習：教団の存在意義を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
13.	教団論２	予習：現代における共同体の意義を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
14.	教学と教化（法の作用と誤用）	予習：宗教活動の本旨を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
15.	仏教学としての「宗教法規」	予習：宗教法制の全体像を確認する（2時間）復習：各法令の意義を把握する（2時間）

教科書	『真宗大谷派宗憲 宗教法人法』、『教団の歩み』、『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　定期試験（50%）
特記すべき事項	担当者の実務経験：真宗大谷派宗務役員、教学研究所所員、宗教法人代表役員（現職）
質問・相談等の受付	メール対応可（アドレスは授業時に提示する）

科　目	声明作法Ⅲ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	渡邉弘宣	授業形態 単位数	演習 1単位

授業概要	「声明作法Ⅲ」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的としている。聖教を繰り返し唱和しながら、「勤行作法」「荘厳作法」「装束作法」の基本を学ぶ。 主に「伽陀仏説阿弥陀経和讃音木」など、大谷派の年忌法要を中心に僧侶としての生活実践に重きを置く。 本授業は仏教学科の学習成果（2）に対応する。
到達目標	聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和している事の大切さを感じることができるようになる。 正確に読めるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果②を得ることができる。
学習成果の評価基準	到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の到達度を測るために、到達度確認のテストを実施して評価する。

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	自己紹介 声明概説復習「装束作法」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
2.	大谷派の法要について　御経「浄土三部経について」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
3.	「キンの心得」　御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
4.	御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
5.	御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
6.	御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
7.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
8.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
9.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）））
10.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
11.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」　三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
12.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」　三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
13.	正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「同朋奉讃」「御文」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
14.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」　三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
15.	三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」　三帖和讃（懸け和讃を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）

教科書	『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度(20%)　達成度確認(20%)　定期試験(60%)
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	声明作法Ⅳ	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	渡邉弘宣	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	「声明作法Ⅳ」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的としている。聖教を繰り返し唱和しながら、「勤行作法」「荘厳作法」「装束作法」の基本を学ぶ。 主に通夜・葬儀の勤行など、真宗の葬儀式を中心に僧侶としての生活実践に重きを置く。また、遺族の気持ち（グリーフ）に配慮した儀式執行についても学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果②に対応する。		
到達目標	聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和している事の大切さを感じることができるようになる。 正確に読めるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果②を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の到達度を測るために、到達度確認のテストを実施して評価する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	前期の復習 声明概説「真宗の葬儀式について」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
2.	「装束作法」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
3.	通夜・葬儀について　「荘厳作法」「各種偈文について」（勧衆偈を中心に）	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
4.	通夜・葬儀について　正信偈「墨譜を中心として」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
5.	通夜・葬儀について　正信偈「墨譜を中心として」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
6.	通夜・葬儀について　念佛讃淘三　三帖和讃	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
7.	通夜・葬儀について　念佛讃淘三　三帖和讃	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
8.	通夜・葬儀について　念佛讃淘三　三帖和讃	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
9.	通夜・葬儀について　念佛讃淘三　三帖和讃	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
10.	通夜・葬儀について　「装束作法」御文	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
11.	通夜・葬儀について　伽陀（先請弥陀を中心に） 三帖和讃（懸け和讃を中心に）「装束作法」	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
12.	通夜・葬儀について　復習	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
13.	通夜・葬儀について　復習	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
14.	正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として　念佛讃淘五　三帖和讃	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）
15.	通夜・葬儀について　復習	予習：声明集に目を通す（30分） 復習：教材確認、授業の復習（30分）

教科書	『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度(20%)　達成度確認(20%)　定期試験(60%)
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	真宗と社会	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	木屋行深・小田朋隆	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	歴史的社会的存在である宗教（真宗）および宗教施設（寺院）について、背景となる歴史を認識するとともに、その今日的意義と課題を学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果（6）に対応する。		
到達目標	自身の背景となっている教団の歩みを認識することを通して、人として、また僧侶としての姿勢の確立に資する。		
学習成果の評価基準	浄土真宗と寺院の歴史的な成り立ち、背景、およびその今日的課題に関する認識度を評価基準とする。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	概説１　－教団史を学ぶ必然性	予習：宗派の基本構造をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（（2時間）
2.	概説２　－教団史を学ぶ際の留意点	予習：寺院、僧侶の基本をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
3.	大谷廟堂のなりたち	予習：本願寺の源流について調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
4.	廟堂から本願寺へ	予習：墓所の寺院化について調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
5.	蓮如上人の生涯と教え１	予習：室町期の本願寺と周辺状況を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
6.	蓮如上人の生涯と教え２	予習：蓮如上人の事績を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
7.	本願寺の東西分派	予習：戦国期の本願寺の周辺状況を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
8.	明治大正期の東本願寺　－両堂再建の軌跡	予習：明治期の本願寺の周辺状況を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間）
9.	ジェンダー事前学習	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（（2時間）
10.	ジェンダー講義　ゲストスピーカー草野龍子先生	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）
11.	ジェンダー事後学習	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）
12.	教誨師事前学習	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）
13.	教誨師講義　ゲストスピーカー古賀祐法先生	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）
14.	教誨師事後学習	予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）
15.	まとめ	

教科書	『真宗聖典』、『教団の歩み』
参考書	『本願寺の軌跡』、『親鸞聖人の娘 覚信尼と真宗本廟』、『教如上人と東本願寺創立』、『本廟物語』
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　定期試験（50%）
特記すべき事　　項	アンケート、小テストまたはレポート提出あり。 担当者の実務経験（小田）：真宗大谷派宗務役員、教学研究所所員、宗教法人代表役員
質問・相談等の受付	小田：メール対応可（アドレスは授業時に提示する）

科　目	教化学実習Ⅲ	開講時期 履修方法	２年前期 必修、専門科目
担当者	中島　航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	１、２年生合同で、「夏の法要」に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。共同して一つの法要に取り組んでいくことを通して、現場に応ずる学びを深めていく。 本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。		
到達目標	法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。		
学習成果の評価基準	「法要概要や目的を理解することができる」の達成度を測るために、到達度確認テスト（期末レポート）を実施し評価する。 授業での積極的なグループ活動（法要の企画、学習、準備など）を「受講態度」の評価とし、「協働して法要を勤めることがができるようになる」の達成度を測る。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス　概要の確認と係の決定	予習：シラバスを読む（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
2.	事前準備①　法要の企画を行う（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
3.	事前準備②　法要の企画を行う（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
4.	事前準備③　法要の学習を考える（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
5.	事前準備④　法要の学習を考える（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
6.	事前準備⑤　勤行の練習をする（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
7.	事前準備⑥　勤行の練習をする（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
8.	事前準備⑦　勤行の練習をする（3）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
9.	事前準備⑧　法要の準備を行う（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
10.	事前準備⑨　法要の準備を行う（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
11.	事前準備⑩　法要の準備を行う（3）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
12.	事前準備⑪　法要のリハーサルを行う	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
13.	夏の法要① 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」草四句目下、念仏讃　三淘）、学習発表、講話など	予習：夏の法要の要項をもとに準備を行う（30分）　復習：授業の内容を振り返る（30分）
14.	夏の法要② 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」草四句目下、念仏讃　三淘）、学習発表、講話など	予習：夏の法要の要項をもとに準備を行う（30分）　復習：授業の内容を振り返る（30分）
15.	事後総括　法要を総括する	予習：夏の法要を振り返る（30分）　復習：授業の内容を振り返る（30分）

教科書	なし
参考書	適宜、資料を配布する
学習成果の評価方法	受講態度（70%）　その他【期末レポート】（30%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける　また、電話、メール等でも受け付ける

科　目	教化学実習Ⅳ	開講時期 履修方法	２年後期 必修、専門科目
担当者	中島　航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	１、２年生合同で、仏教学科報恩講（冬の法要）に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。事前準備・法要を通して、１年間あるいは２年間の学びを総括する。 本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。		
到達目標	法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。		
学習成果の評価基準	「法要概要や目的を理解することができる」の達成度を測るために、到達度確認テスト（期末レポート）を実施し評価する。 授業での積極的なグループ活動（法要の企画、学習、準備など）を「受講態度」の評価とし、「協働して法要を勤めることがができるようになる」の達成度を測る。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス　概要の確認と係の決定	予習：シラバスを読む（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
2.	事前準備①　法要の企画を行う（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
3.	事前準備②　法要の企画を行う（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
4.	事前準備③　法要の学習を考える（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
5.	事前準備④　法要の学習を考える（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
6.	事前準備⑤　勤行の練習をする（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
7.	事前準備⑥　勤行の練習をする（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
8.	事前準備⑦　勤行の練習をする（3）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
9.	事前準備⑧　法要の準備を行う（1）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
10.	事前準備⑨　法要の準備を行う（2）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
11.	事前準備⑩　法要の準備を行う（3）	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
12.	事前準備⑪　法要のリハーサルを行う	予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分）
13.	仏教学科報恩講（冬の法要）① 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」真四句目下、念仏讃　五淘）、学習発表、法話など	予習：冬の法要の要項をもとに準備を行う（30分）　復習：授業の内容を振り返る（30分）
14.	仏教学科報恩講（冬の法要）② 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」真四句目下、念仏讃　五淘）、学習発表、法話など	予習：冬の法要の要項をもとに準備を行う（30分）　復習：授業の内容を振り返る（30分）
15.	事後総括　法要を総括する	予習：冬の法要を振り返る（30分）　復習：授業の内容を振り返る（30分）

教科書	なし
参考書	適宜、資料を配布する
学習成果の評価方法	受講態度（70%）　その他【期末レポート】（30%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける　また、電話、メール等でも受け付ける

科　目	教化学演習Ⅰ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	中島　航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉（法語）について、自分の体験を通して他人にも分かる言葉で話すことである。 前期は、法話とは何なのか、どのような内容なのか、そして、法話の目的は何なのかを考え、アクティブラーニングを実施する。 本授業は仏教学科の学習成果（5）に対応する。		
到達目標	法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として表現できるようになる。 法話の聞き手、さらには普段、僧侶として接する目の前の人の気持ちを理解し、考える力を身につけることができる。		
学習成果の評価基準	授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加をもって「授業態度」の評価とする。 また学期末に行う法話実習（学内で法話の実施）においても評価する。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス　授業概要のオリエンテーション	予習：法話とは何か考えてみる（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
2.	法話とは何かを学ぶ①　「教化とは」　：吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
3.	法話とは何かを学ぶ②　「自信教人信とは」：吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
4.	法話について考える座談（グループワーク）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
5.	法話を聞く　1－①　学外に法話を聞きに行く（鸞音忌法要：光善寺）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
6.	法話を聞く　1－②　学外に法話を聞きに行く（鸞音忌法要：光善寺）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
7.	法話を聞く　2－③　学外に法話を聞きに行く（教区定例法話など）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
8.	法話を聞く　2－③　学外に法話を聞きに行く（教区定例法話など）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
9.	法話原稿作成に関するオリエンテーション	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
10.	法話原稿作成①　法話の題材である「白骨の御文」を学ぶ	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
11.	法話原稿作成②　法話実習の原稿を考える	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
12.	法話原稿作成③　法話実習の原稿を考える	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
13.	法話実習のリハーサル　学内でリハーサルをする：吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
14.	法話実習　学内で法話を実施する　：吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
15.	法話実習の振り返り　法話実習を振り返る座談	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）

教科書	『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	授業態度（課題に対する取り組み姿勢など）（70%）　学期末法話実習の原稿作成（30%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	随時、受け付ける。

科　目	教化学演習Ⅱ	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	中島　航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉（法語）について、自分の体験を通して他人にも分かる言葉で話すことである。 後期の学びは、2回ある法話実習への準備が中心となる。寺院での法話実習や、仏教学科報恩講での法話など、より実践的なアクティブラーニングを実施する。本授業は仏教学科の学習成果（5）に対応する。		
到達目標	法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として表現できるようになる。 「目の前の人に向き合ううえで大切なことは何か」ということを考えて、人と関わる力を身につけることができる。		
学習成果の評価基準	授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加をもって「授業態度」の評価とする。 また寺院法話実習（近隣寺院で法話実施）の準備、原稿提出についても評価する。 学期末レポート試験（「冬の法要」法話原稿提出）。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	法話基礎実習Ⅰの振り帰り　：吉元信暁	予習：前期を振り返る（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
2.	法話原稿作成①　後期の法話作成についてのオリエンテーション	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
3.	法話を聞く　　動画視聴を通して法話を聞く	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
4.	座談（法話を聞いて感じたことを話し合う）	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
5.	法話原稿作成② 寺院法話実習での法話原稿を作成する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
6.	法話原稿作成③ 寺院法話実習での法話原稿を作成する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
7.	法話の発声、立ち振る舞いを学ぶ①：ゲストスピーカー 表現学科の教員より発声、話し方、立ち振る舞いを学ぶ	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
8.	寺院法話実習①　　近隣の寺院で法話を実施する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
9.	寺院法話実習②　　近隣の寺院で法話を実施する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
10.	法話実習（近隣寺院）の振り返り	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
11.	法話原稿作成④ 仏教学科報恩講での法話原稿を作成する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
12.	法話原稿作成⑤	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
13.	法話原稿作成⑥	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
14.	法話実習（「仏教学科報恩講」の法話）リハーサル①　　：吉元信暁	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）
15.	法話実習（「仏教学科報恩講」の法話）　リハーサル②　　：吉元信暁	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）

教科書	『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	授業態度（40%）　寺院法話実習への準備（30%）　「仏教学科報恩講」での法話準備（30%）
特記すべき事項	「仏教学科報恩講」当日は、当授業ではなく「教化学実習Ⅳ」の出席とする。
質問・相談等の受付	随時受け付ける。

科　目	課題研究Ⅰ	開講時期 履修方法	２年前期 選択、専門科目
担当者	青木　玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	卒業論文の提出に向けて、自らの課題を明確にする。前期は、卒業論文の中間発表を目標に、授業の中で発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自らの課題を明確にし、7月に卒業論文の中間発表を行う。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。		

	授 業 計 画（授 業 内 容）	授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	予習：「授業要覧」を読む（30分）　復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
2.	レジュメの作り方	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
3.	発表・質疑応答①	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
4.	発表・質疑応答②	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
5.	発表・質疑応答③	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
6.	発表・質疑応答④	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
7.	発表・質疑応答⑤	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
8.	発表・質疑応答⑥	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
9.	発表・質疑応答⑦	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
10.	発表・質疑応答⑧	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
11.	発表・質疑応答⑨	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
12.	発表・質疑応答⑩	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
13.	発表・質疑応答⑪	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
14.	卒業論文中間発表①	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
15.	卒業論文中間発表②	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）

教科書	『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　授業内発表（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	課題研究Ⅱ	開講時期 履修方法	２年後期 選択、専門科目
担当者	青木　玲・中島　航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	卒業論文の内容を明確にすることを目標に発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	11月に卒業論文の発表を行い、1月には卒業論文を提出する。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。		

	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
2.	発表・質疑応答①	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
3.	発表・質疑応答②	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
4.	発表・質疑応答③	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
5.	発表・質疑応答④	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
6.	発表・質疑応答⑤	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
7.	発表・質疑応答⑥	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
8.	発表・質疑応答⑦	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
9.	発表・質疑応答⑧	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
10.	発表・質疑応答⑨	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
11.	発表・質疑応答⑩	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
12.	発表・質疑応答⑪	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
13.	発表・質疑応答⑫	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
14.	卒業論文発表①	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）
15.	卒業論文発表②	予習：発表の準備をする（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）

教科書	『真宗聖典』
参考書	
学習成果の評価方法	受講態度（50%）　授業内発表（50%）
特記すべき事項	
質問・相談等の受付	

科　目	卒業論文	開講時期 履修方法	２年後期 必修、専門科目
担当者	吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	本学仏教学科の学びの集大成として、各自の研究課題に基づく学習成果を論文の形で発表する。 卒業論文作成には、各自の研究課題を明らかにし、それについてどのように取り組んでいくかを検討し、教員のアドバイスを受けて進めなければならない。卒業論文中間発表（7月）、卒論発表（11月）に発表し、個別に教員と相談しつつ進めていく。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分自身の仏教の受け止めを、誤りなく正確に論述することができるようになる。		
学習成果の評価基準	論文の内容と口頭試問によって、読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力の達成度を判断評価する（各25%）。		

	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		
11.		
12.		
13.		
14.		
15.		

教科書	
参考書	
学習成果の評価方法	卒業論文提出と口頭試問
特記すべき事項	読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力を磨くように努めること
質問・相談等の受付	課題研究の授業、その他随時受け付ける